

# 車いす用ワンタッチベルト「キーパー」 取 扱 説 明 書

キーパーご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みいただき使用上の注意事項、正しい装着の仕方をご理解してご使用いただきますようお願いいたします。また、取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

## 1. 安全上のご注意

### 危険

- 普通型車いす以外には使用しないでください
- リクライニング車いすには使用しないでください。
- あばれる患者さんには、転倒する危険がありますので使用しないでください。
- 拘束帯として使用しないでください。

### 注意

- 看護者、介護者の目の届く範囲で使用してください。
- 車いすの車輪とフレームの間、スポークの間等にジョイント部が挟まらないようにしてください。ジョイント部が破損することがあります。
- 洗濯時、ジョイント部は必ずはめた状態で行ってください。破損することがあります。
- 商品を改造して使用しないでください。

◆からだの大きい方でベルトが短い場合には、オプションでベルトを延長することができる「調節ベルト」があります

## 2. ご使用方法

装着図	装着の仕方	 注意点
1 	● 車いすのブレーキをかけた状態でキーパーの股下部のベルトを座席と背もたれ下部のすき間に通します。	● 股下部のベルトを座席の下側(裏側)に通さないでください。 ● 円座等のクッションを使用する場合はベルトと座席の間においてください。
2 	● 患者さんを車いすの最も適した位置に座らせ、頭を通します。(Singleは、片方の肩にあてがいます)	● おしりが背もたれの下側に密着しているか座る位置を確認してください。
3 	● キーパーを胸部に合わせ位置を決めます。	● えりぐりが首にかからないようにしてください。 ● 胸ベルトは脇の下側を通してください。 ● 手足を動かせる状態にしてください。
4 	● 肩ベルトを車いすの背もたれの後ろに回しジョイントしてから長さを調節します。	● ジョイント部のオス側メス側を正しくはめないとジョイント部が破損することがあります。
5 	● 最後に胸ベルトを車いすの背もたれの後ろに回し、ジョイントして長さを調節します。	● 正しい座位姿勢が保持されているかを確認してください。